

いのであります。但し流石の英國でも最初から立憲政治が甘く行つたのでは無い。或る時代には「議員は皆價格を有す」と言はれた時代があつた。即ち價格の高い低いがあつても議員は凡て買収が出来る、と言はれた位の腐敗した時代があつたのである。それが今日の様に國民性を作り上げる爲には、永い年月の努力があるのです。草取運動は何れの國でも必要であります。國民が努力をせないで善い政治が生れる譯は無いのであります。

近頃私が見た本の中に、佛國の政治家のドラヂエと言ふ人の事が書いてあつたが、佛の政界を隠退して「革命のやり直し」と言ふ本を書いた。此人は三度も佛國の内閣を組織した人であるが、議會政治の弊害に愛憎をつかして政界を隠退して直接に佛國民に訴へて革命のやり直し、政治の理想の樹て直しをしたいと思いますと言ふのであります。そして「デモクラシーの政治と言ふものは、到る所に多數の壓制が行はれる。そして何處を探しても責任の所在が無い」など言つて居る。議會政治に對する斯様な批難は、二千數百年前の希臘時代からある非難であります。

私には何も珍らしい事は無い、併し私の感じた事はドラヂエ程の政治の經驗者が、愈よ矢張り策が盡きたれば、根本に反つて政治の理想、政治の道德の樹て直しを考へると言ふ一點であります。私も亦矢張り日本の立憲政治の建て直しをする上には是非共其根本策として青年の立憲的忠君愛國、立憲的の武士道を確立して行かねばならぬ事を切實に感ずる次第であります。

### 青年諸君に望む

私は結論として青年諸君に告げたい。結論の第一は日本の立憲政治を建て直すには、先づ國民自身が自ら責めなくては駄目である。政黨が悪いとか、官僚が悪いとか言つて、他人を責めて居る間は駄目である。國民自身が先づ自ら從來の無頓着を懺悔し、立憲的忠君愛國心を確立しなければならぬのであります。其次に結論の第二は立憲政治は他の國の眞似をしては駄目である。日本は日本の歴史に應じ國民性に應じた、日本固有の立憲政治を作り上げる事を考へね



ばならぬ。英國の眞似も米國の眞似も出来るものはない。日本人の身體に應じて仕立直しをせなければならぬ事である。結論の第三は「治人あつて治法なし」治める人があつても治める法律は無い。法律に依頼しては駄目である。萬事は人間の心得が大切である。それには草取運動が必要である。草取をせないでは米が取れぬ。立憲政治は明治天皇陛下が國民に賜はつたる名譽ある負擔である。此名譽ある負擔を分つに堪ふる事を示して、御大御心に應へ奉るには、是非共私は青年諸君の奮起を促す事が最も廻り遠い様で、却つて一番近道であると思ふ次第であります。(昭和十二年四月十四日午後八時三十分放送)

## 自治に就いて

これは昭和十三年四月十八日、自治五十周年記念を卜して、東京、日比谷公會堂に於て試みたもので、精神總動員が叫ばれる今日、その一環として、各人が心懸けて頂き度いものです。

### 1、序 説

昨日・今日はお互ひに洵に目出度い日でありまして、自治に關係のあつた私にとりましても非常に愉快であります。今晚はまた各府縣の、全國から集まつた町村長諸君並に私の最も親愛



なる東京市民諸君のお集まりであります爲めに、何だか此の席に来て自治の話をする、以前  
東京市役所に居つた時の様な氣持になり、洵に伸伸びりした氣持がするのであります。(拍手)  
私は今、東京の市長でも何でも無い、又役人でもない、従ひまして何を喋つても、何處からも  
不信任決議を受ける心配はない。(拍手) 此の爲めに或は少し無遠慮な事をお話しするかも知  
れませんが、そこは親しい間柄に免じてお聞流しを願ひ度いのであります。(拍手)

## 2、氣長く努力すること

題して自治所感といふので、これは何を言つても差支へない様な題を掲げたのであります。  
其の所感の一つとして、どうも自治といふものは、中々うまくゆかないものでありまして、こ  
れは餘程氣長に努力しなければならん、といふ事が所感の一つであります。

これに就いて只今水野先生(練太郎氏)からお話しがありました山縣公爵の事、また其の時  
の山縣公爵の下に書記官だつた大森鐘一男爵の事をお述べになつて居りますが、私は丁度今か  
ら二十五年前、即ち自治二十五周年の記念の時——これが大正四年でありまして、大正天皇様  
の御大典の年に當つてをり、そうして當初の京都府知事は大森男爵でありまして、私は其の下  
で警察部長をして居りました。其の二十五周年の時に大森男爵から自治制定の由來といふ長い  
お話しを親しく承つた事がありますので、今其の時の事を想ひ出して、今日實は山縣公のお墓  
と大森男爵のお墓を廻つてお参りをして來たのであります。(拍手) ところが此の山縣公のお  
墓は護國寺に在るので、私は其の近邊に住居をし居てりますから、朝飯前に一寸散歩して廻つ  
て來たのであります。(拍手) 左程諸君が感心されるほどの殊勝な心持ではありません。(笑聲)  
大森男爵のは駒込でこれは少し遠いから、此の方は賞めて貰つてもよいのであります。(拍手)  
其の二十五年の昔に大森男爵が色々二十五年前のお話をして居りましたのを、私はよく覚え  
て居ります。まだ山縣さんも居られたので、男爵が山縣公爵にお目にかゝつた。さうすると山



縣さんが斯ういふ話をして居つた。今より二十五年前に自治制を發布する時分に、町村長を公選にするか、官選にするかといふ事で非常に議論があつた際に、山縣公爵は是非ともこれは公選にしなければならん、といふ事を強く主張されたのであります。(拍手) 私は初め山縣さんはそんな氣持を有つて居る人であつたかといふ事を、實は豫て知らんのではないけれども、親しく聽いてみると、何だか彼の人は政黨嫌ひであつた様で、さういふ氣持を持つて居られたといふ事を深く感じたのであります。山縣さんは一方の方では國民皆兵といふ事を主張されて、武士の手から取上げて國民全體を兵隊とする。今の言葉で謂うたなら、國防の民衆化といふ様な事を考へて居る。そして一面自治並びに政治の事になると、政治の民衆化、自治の民衆化といふ様な事を考へて居られたので、此の考へ方といふものは、まことに山縣公爵の様な、專制でもやりさうに見える人にして此の考へ方をされるといふ事に深く敬服したのであります。

其の時に、大森男爵の話では、山縣公爵に會うた所が、實は二十五年前には色々當時心配して居つたが、中には自治はうまくゆかない、未だ早過ぎるといふ議論のあるところを自分が押切つてやつた。また町・村長は官選がよいといふのを、公選といふ事を自分が主張した、廿五年後の今日、これがうまくゆかなければ自分はどうも天下の罪人になるのである、斯う言つて當時どうもうまくゆかないといふ事を嘆息されたといふ事でありました。私は今日山縣さんのお墓に參つて、またつくづく其の事を想つたのです。自治をやる以上は公選にするのが當然であつて、五十年前に山縣公爵がそれほど進退を賭してまで争つたといふ問題であります。そして近頃東京都制案といふものが出来るに際して、仲々都長の官選論といふものが旺さかんなのであります。斯ういふ様な事は、洵に何だか山縣さんのお墓參りを致して、私をして氣恥かしい様な氣持にさせたのであります。(拍手)

御承知の通り、十月一日は東京市自治記念日といふ事になつて居りますが、此の自治記念日は、東京市が自治になつた時を記念するのではない、即ち明治二十二年から三十一年まで、其



の間は東京市長といふものは東京府知事が兼ねて居つたのでありますが、其れを明治三十一年の十月一日から、初めて市民の選挙に依つて東京市長が出来たのである、即ち市民の諒解ある者が市長になつて、市民の知らん間に市長が出来て居るといふ様な事ではなく、市民の諒解ある市長が出来た譯で、つまりその市長が市民から選ばれたといふ日が十月一日だといふので、自治記念日にして居るのであります。さういふ事を考へますと、何だか五十年前に山縣さんがあんなに言つて居つて、今日まだ東京市長を東京都長にすれば官選にするとか、公選にするとかいふ話のある事を、如何にも私は耻かしく感じたのであります。(大拍手)

たゞ諸君に申し上げたいのは、斯ういふ様な話が五十年後の今日に出て來ます事も、是れは果してさういふ事を言ふ役人が悪いのか、或は言はせる人が悪いのか、此の點は深く吾々として反省しなくちやならん事と考へるのであります。(大拍手)

それから今一つ大森男爵は其の二十五年前の色々な話をされた後に、一番終ひに、どうも二十五年を經過した今日もなほうまくゆかない、併しながら自治制の施行といふ事は決して悪い事ぢやないので、大體から觀れば非常に善いのである。恐らく五十年の記念をする時には、必ず自治はうまくなつて居るに違ひない。斯ういふ風に大森さんは言はれたのであります。(拍手) 今日大森男爵のお墓に參つて私は其の時を想ひ出しまして、貴方の仰つしやつた通りに、五十年には自治が完成して何等の弊害がありません、と言ひたいのでありますが (笑聲、拍手交々) 如何に心臓が強くとも、さうは申上げかねたのであります。(笑聲) 其の事を考へまして、實に自治は長い辛棒をしなければ善くなつてゆかないものだといふ事をつくづく思ひました。

私は今日此處でお話をするといふ事に就いて、十五年ばかり前、左様——震災の前ぐらゐの時に東京市役所に居つたのですが、その頃、色々方々で話をした事があつたので、其の當時のことを回想すると、微かではあるが、次々に追憶に蘇つて來るのであります。それはどういふ事かといふと、其の當時の事を私がまた繰返して喋べると皆様お考へかも知れませんが、まだ私



は何だか新しい様な氣持がするので、繰返して申すのであります。其の當時アメリカ紐育に悪い評判があつた、甚だしい弊害があつた、アメリカの自治がどうもうまくゆかないといふので、英國のゼームス・プライスといふ人に診察して貰つたのであります。其のゼームス・プライスは、アメリカの自治がうまくゆかない根本原因は色々ある、しかし其の一つは如何にも市民が市政に無頓着といふ事であると喝破したのであります。即ち市民は市會議員が何をして居らうとも、<sup>ま</sup>至で他所から來た旅人の様な状態にある、従つて無頓着のまゝ放つて置く、此の無頓着といふ事が、市政を紊<sup>みだ</sup>る根本原因である、根元であると謂うて居るのであります。

(「然り」其の通りミ呼ぶ者あり) 其の通りと言つてもこれはアメリカの話であります。(笑聲)

それから第二に、市政不振の原因となるものほ、私の利益を圖るといふ事でありまして、市會議員が自分の請負で金を儲けるとか、或ひは何か人を周旋して金を取るとか、私の利益を圖る事ばかり考へて、市全體の利益を後にしてそれを犠牲にするといふ事が市政紊亂の素である

といふ事を第二に述べて居るのであります。(拍手) これもアメリカの話であります。(笑聲)

第三は黨派心といふ事であつて、黨派の勢力を扶<sup>ふしよ</sup>殖する爲めに、どうしても斯ういふ事をやる彼あいふ決議をする、其の決議は市民の利益であるといふよりは、さういふ風にやつて我黨の勢力を増加する、自分の仲間を殖やすといふ事が眼目になつて、それから出發して總ての市政を考へる、これが市政の紊れる第三の原因である、斯ういふ事が書いてあるのであります。

(拍手)

私は其の當時東京市長をして居りまして其のゼームス・プライスの話を讀んで、これは一アメリカの話か東京の話か解らなくなつた事があるのです。(笑聲・拍手、交々)其の十五年前の話を、今晚此處に來る時に一寸その本を覗いたのですが、今ゼームス・プライスを日本に呼んで來て、自治が何故不振であるかといふ診察をして貰つたら、きつと昔の通りの事を言ふのではないかといふ事を想つたのであります。(拍手) 斯ういふ事を考へてみますると、どうも自治



が改良されるといふ事は、仲々氣を長くして居らなければならないのであります。此の五十周年記念に際しても、遺憾ながら私は大森男爵の墓前で、自治は良くなつて居るとは申されなかつたのであります。しかし、恐らく百年後には、絶対に良くなつて居ると考へるのであります。(拍手) だが、或はまた其の時の人が、私と同じ様な事を言ふかも知れません。(拍手) だから、さういふ風に考へると、所感の第一としては、氣長く努力しなければうまくゆかんといふ事になるのであります。

### 3、安心して自治に邁進すること

其の第二は、自治に對する信念を確と把握つて居なければならぬといふ事を申し上げたい。こんな事を何故言ふかといふと、矢張り何としても自治が発達しないとか、何とか苦情を言ひますけれども、それならば自治をやらずに今日までやつてゆけたかといふと、それは決してさ

うはゆかんであります。矢張り不完全なから、自治が斷行された爲めに、日本の政治が兎に角良くなつて居る。良くゆかんでも、やらなければもつと悪くなるといふ事を考へなければなりません。だから、其の自治といふ事に就いて、大局からそれをよく理解してゆく必要があります。日清・日露の戦争にしたところが、今度の事變にしたところが、「歡呼の聲に送られて」といふ、此の氣分が國民全體に在るから日本は強いのであります。(大拍手) 國民の理解無くしては總ての事は出来るものではないのです。(拍手) 其の理解を強くしてゆくといふ事が最も大切なのであります。(拍手)

今日國民精神總動員といふ事が叫ばれて居りますが、精神總動員といふものは自治の觀念に富んだ人、國民全體の諒解の下に始めて精神總動員は出来るのでありまして、役人ばかりが喋つて巡る精神總動員は空廻りを致してゐるに過ぎません。(拍手) 精神總動員をして空廻りさせない様にすることは、言ふまでもなく國民全體の責任であり、また自治關係者の責任でもあ



ると考へるのであります。(「然り」言ふものあり)

之は何だか私だけの感じであるかも知れませぬが、近頃ファツショが流行する程であります  
が、何だかファツショの流行る時に自治の影が薄いのではないか、斯ういふ様な考へ方をする  
人が一部にあります。此の疑ひの心を取除けるといふ事が五十周年の今日に當つて最も肝要な  
事であります。(拍手) どうしても自治の上に立つて國民全體が理解をしなければ精神總動員  
は空廻りをする。此の考へ方で自治に信念を持つといふ事が肝要なのであります。

ファツショといふ事に就いて、御承知の通り、近頃イタリアからお客さんが見えまして、或  
る席で私は隣りにイタリアのファツショの人が居りましたから、私はファツショと謂ふことが  
結束の意味だと言ふ事はかねて聞いてゐたが、恰度ファツショの本物が来て居るのであります  
から、其の隣りの人にファツショは何んだといふ事を確めたのであります。ところが矢張りそ  
れは「結束といふ事である」と斯ういふのであります。さうしたら、隣りに外交官が居つた

が、日本には毛利元就もとむねといふ人の話がある。それは元就が三人の子供に、一本づつの矢は折れ  
るが、三本一緒にすれば矢は折れないといった話があるといふ事を申しましたところが、「さう  
だ、それがファツショだ」斯ういふ事を言ふのであります。さうしてみますと、ファツショ  
の手本はイタリアだと思はれてゐるが、實は日本にもすでに在つたのであります。だからファ  
ツショが流行つて来たといふが何んにも不思議な事はない、日本にも在るのです。さういふ事  
を考へてみまするといふと、これはどうもさう心配な事はない。たゞファツショをやるために  
イタリアは獨裁政治を行ひますけれども、それはイタリの國情に照らしますと獨裁が必要な  
であります。獨裁に依つて政治をやるのがイタリアとして便利ならば、それを行つたらいいと  
言ふことになりませう。ところが、日本はどうかと言ふに、さういふ風な獨裁政治を行ふ必要  
がない。日本ではどうしたらいいか、それは普通にやればいいと思ふのであります。普通に  
にやれば、ずつと昔のまだ昔の、其の又昔、神話の時代に於ては、八百萬の神が總ての問題を



神集ひに集ひ、神謀りに謀つて決せられた、斯ういふ事になつて居ります。即ち其の八百萬神様の精神といふもので、これで總ての場合を吾々が解決して行けるものであると信するのであります。(拍手)

二十年ほど前にデモクラシーが非常に流行つて來た。デモクラシーは人民が主權者だとか、或は人民に依る政治といふ事をリンカーンが言ふたといふ事で、其のデモクラシーの精神がどうだとかいふ事を頻りに言ふ者がありました。併しそれは日本の八百萬神の精神に含まれて居ります。其の結束の固い事は、日本以上に固いところはないのであります。

だからファツショを今他所の通りにそれをしなくても、八百萬神の精神はファツショも、デモクラシーも其の中に含んで居るのであります。(拍手) 私の考へではファツショでも構はない、デモクラシーでも構はない、さういふ風なものをこれを肥料に使ふ方法がないかといふ風に考へればいゝ、さういふ風に思ふのでありまして、此のファツショが流行つて來るから自治

の影が薄いなんといふ考へ方は思はざるの甚だしいものであると思ひます。(大拍手)

ドイツのナチスといふ事に就いても色々人々が心配しますけれども、これにも考へがあるのです。ナチスの精神は詰り全體主義で、個人の利益より團體の利益、國家の利益を先にしようといふ、斯ういふのがナチスのスローガンであります。これは昨日賜りました勅語の「私ヲ去リ公ニ奉シ」斯ういふ御言葉の中に充分含んで居るのであります。日本は昔からさういふ風に團結をして、自分個人の事は忘れて、國家全體の事に進んで行くのでありますからして、ナチスの全體主義といふ事も我々には、充分能く理解が出来るのであります。ナチスと謂ひましても、實は歴史主義、民族主義、土地、血統といふ様な事を言ひ、血族といふ事をドイツではユダヤ人を排斥する爲めにさういふ事を言ふのでありますけれども、我が日本の七千萬同胞は昔は熊襲族、出雲民族、馬來民族などであつたかも知れないが、今日では全く合一して、これくらい血統的に大きな團體といふものはないのでありまして、日本にはナチスの心配する様に



血族主義を言ふ必要はないのであります。歴史主義とか民族主義とかいふ様な事は、日本はありのまゝ、そのまゝが歴史主義、民族主義になつて居るのであります。斯ういふ風に考へて行きますと、此頃の様にならぬかナチス、ファツシヨが流行つて來ると、自治の影が薄いのではないか、といふ様な心配をする人は、今日、只今から斷然さういふ心配を去つて、安心して自治の爲めに邁進するうにしなければなりません。五十周年に際しまして、これ位い吾々の最も努むべき根本のものはないと考へます。疑つて進めば總ての事は駄目です。疑はないで吾々は益々自治に、安心して自治に進むといふ此の決心をする事が五十周年の記念に際して何よりも大切な事でありませぬ。これが私の所感の第二であります。(拍手)

#### 4、自治に對し自治を好きになること

第三の自治に對する所感は、吾々は自治に對して自治が好きだ、斯ういふ氣持にならなければなりません。自治には斯ういふ理窟があるかなと言つて、……斯う言つた様な理窟や、法律的な規約ではなく、感情的に、情熱的に吾々は自治が好きだといふ風になつて貰ひたいのであります。私は曾て役人にもなつた事があります。此處にはお役人方も居るだらうと思ひますから、さういふ時にかう言ふことを言ふのは差控へたらいゝのですが、此處で、一寸無遠慮を宥して貰ひますと、どうも私はお役人の方が何だか水臭い様な氣がするのであります。(拍手) 知事閣下とか、大臣閣下とか謂はれるよりも、矢張り市長さんと謂はれる方が心持が良い。私は折々圓タクに乗りますが、その時分には矢張り圓タクを値切つて乗るのであります。さうすると、暫く走つて居る時運轉手が突然に、「此の頃魚釣りにいらつしやいますか」と言つて來ることがある。(笑聲) 僕と識つて居るのかといふと、市長さんはよく識つて居ると言ひます。今でも市長さんと言ふ人があります。さう言はれると何だか良い心持になりまして、自動車を降りる時、十錢ぐらいどうしても餘計に奮發してやる。(笑聲) さういふ様なもので、自治と



いふものは非常に善い、親しいといふ様な氣持を持つものであります。私などは市役所に二度御厄介になつて、初めて世の中の空氣が大變解りました。世の中といふものは斯ういふものだ、といふ事が大分解つた、矢張り東京市長といふものは相當修養の出来るものであります。

(拍手) 諸君が修養したい思はれたら役所で二三日お勤めになれば少し解ります。さういふ風に自治といふものは非常に親しい様な氣持を吾々に與へるものであります。

私はまた斯ういふ事をも思ふ。私が二度目に市長を致して居ります時分、アメリカからチャップリンが來た。そこで、彼に御馳走して話をさせてみた。其の時にチャップリン、「私は日本に來るに際して日本では三人の人に會ひたいと思ひました。其の一人は東郷元帥、もう一人は總理大臣である。もう一人は東京市長である。」斯様にチャップリンは言つた。チャップリンはあんな映畫やなんかで民衆的に名前を知られて居る人でありまして、世界中で、世界の人類が最も多くその人の名前を知つて居る人間といものは、それはナポレオン、リンカーン、

豊太閣ではなく、チャップリンでありませう。その彼れの言ふ事は民衆的であり、或るヒント、示唆を吾々に與へます。チャップリンが日本に來て、東郷元帥、總理大臣、東京市長に會ひたい、と言ふ心理——これが本當の東京市長の地位でなければならぬのであります。即ち東京市長といふものは、私、つくづく考へますのに、國民の代表として、今日考へますと、何だか此の東京市長を外國人に對して國民の代表者といふ風に考へる様にしたいものであります。

(拍手) 昔は大隈侯爵が居られたり、或は澁澤さん、後藤新平さんが居られたりして、さういふ人々が國民の代りをして居りましたが、さて今日はどなたがさういふ代りをするのであるか、一寸私には分りかねる。さういふ時代には、帝都の中心である六百萬市民の代表者である人がさういふ位置に居らなくちやならんと思ふのであります。これが一番適當な位置であるか考へる。たゞ併し茲に於て矢張り諸君と共に反省したい事があります。私は斯様に思ふのでありますけれども、今日日本の國民全體の氣持が、東京市とか、東京市長とか、東京市會といふ



ものにどれだけの信任を置いて居るかといふ事になると、吾々は深く反省して、さうしてどうしても東京市長を國民の代表にする爲めには、吾々としてまだ／＼努めなければならん方面が残つて居るといふ事を反省しなくちやならんと思ひます。(拍手) さういふ氣持で兎に角自治といふものには親しい氣持を與へるものであつて、殊に外の役人なんかと異つて非常に國民にピッタリ來るものである。どうかして此の自治が愈々盛んになつてゆく様にお互ひに祈りたいと思ふのであります。私の所感は此の三つであります。

## 5、結

び

最後に申上げたい事は、此の次の七十五年に記念式を致しますが、百年に記念式を致しますか知りませんが、其の時に大森男爵が言つた様に、五十年になつたならば必ず自治はうまくいつて居るだらう。私が百年になれば必ずうまくいつて居るだらう、斯ういふ風に言つた事に對

して、お前の考へは違つて居つた。百年後には「まだこんな處にしか歩んでゐない……」などといふ人が無い様に、私がなるほどうまく當てた、斯様に私をして先見の明あらしめる様にしたいと思ふのであります。(拍手萬雷の如し)



## 町會に就いて

日比谷に於ける、自治五十周年記念講演につゞいて、大阪市では、同月二十四日中央公會堂に於て大阪市町會大會を開き「新しい町會」の結成をみましたが、それを祝福し發展を期する意味で依頼されたのがこの講演です—昭和十三年四月廿四日於大阪中央公會堂—

## 私も一人の町會長

私は東京市小石川區（ぞうし）雜司ヶ谷町會長永田秀次郎であります。（拍手）斯う見えても私は町會長の中では優良なる町會長ださうであります。（笑聲）それは昭和七年に小石川の區長さんか

ら、永らく町會に盡したと言つて御褒美を頂戴致しました。又昭和十年にも頂きました。だからたしかに優良なる町會長に違ひありません。（拍手）斯ういふことを、大阪くんだり迄來て吹聴しなくても良さそうなものではありますが、これは、お前が大阪へ行けば、この事だけは言ふて呉れと町内から頼まれましたので……（笑聲）それは矢張り町内の氣持でありまして、私はさう言ふ褒美を貰つたが、實は副會長その他の人がよくやつて呉れますので、褒美を貰つたのは私でありますけれども、貰ふやうにしたのは外の人ばかりであります。（拍手）それで私はこゝに参りまして自慢をする所の義務があるのであります。（笑聲・大拍手）

## 町會は大都會の饅頭粉

只今市長さんから、私が色々の役をしたと言ふことを御紹介下さいましたが、色々の役をして居りまして、大臣が難しいか、知事が難しいか、市長が難しいか、町會長が難しいか、斯う



比較して見ろと言はれますと、それは夫々に難しいと申したいのであります。(拍手) 決して大臣が難しく町會長がやさしい、そんなことは斷じてないのであります。(拍手) 早い話が大臣をして居りますと、私共自分の家でも、官舎でも、留守を使ふことが出来る。所が町會長をして居ると留守を使ふ譯に行かんです。(笑聲) 留守を使つても直にばれて仕舞ひます……然らばその點から言つても町會長の方が難しいやうな氣がするのです。(拍手) 昔から日本一とか世界一とか言ふやうなことを言ひましても、誰も喧嘩相手になつて来るものはない。然し乍ら町内一と言へば必ず喧嘩相手が出来ます。この點は乃ち世界一よりは町内一の方が難しい。「町内一には及びもないが、せめてなりたや世界一」と言ふ民謡があります(?) 世界一の方がやさしくて、町内一の方が難しい。これは少し諷刺的の言葉のやうですが、どう言ふ役でも矢張り夫々に難しい。又町内一が世界一よりも難しい、この呼吸が解つた人でなければ町會長は勤まりません。(拍手) 今日こゝに皆様がお集りになつた所を承りますれば、總て

みな町會に御關係の方ばかりださうであります。私は昨年病氣して居りまして、長い旅をしたのは今回が初めてであります。たゞ御同役の皆様がお集りになるんだといふので、奮つて出て来た譯でありますから少し恩に着して下さい。(大拍手)

日本のこの自治制度と言ふことは、徳川時代に御承知の五人組といふものがあつて、それが發達して來たのに相違ないのであります。所でこの自治といふことは、西洋の風でありますと民權擴張と言つたやうな氣分から出發して來て居るのであります。日本の自治は、即ち斯ういふ町會の發達などは、民權擴張といふやうな氣分から出發したものではありませんのであります。隣保精神といふ所から出發して來たので、西洋とは大分出發點が違ふ。氣持が違ふから、この點は矢張り充分呑込んで居らないと折々間違ひが起ると思ひます。矢張り東京なんかでは、町會が出来ない前はどうも近所隣に誰が來て居るか私なんかも知らなかつた。「隣は昨夜夜逃げしたさうだ」、「あゝそんな人が居つたのか」といつたやうな具合でさつぱり近所隣を知らなかつ



たのでありますが、町會が出来ますといふと、段々親しくなります。矢張り昔から「引越し蕎麥」と言ふものを東京ではやりますが、大阪では如何ですか、引越蕎麥は十銭か二十銭のものでありますが、向ひ三軒兩隣に配る、あれはどういふ意味かと訊いて見ますと、「お側に來たから長くお交際下さい、」斯う言ふことだそうです。(笑聲) 近頃の蕎麥は餛飩粉が澤山這入つて居ると見えて、なか／＼長いです。長くお交際下さるのに都合が良い譯であります。然し乍ら市民と市民、隣と隣の繋合せはよくなつて居るかと言へば、それは一向うまくなつては居らるので、どうしても餛飩粉をもつと澤山入れる必要があります。(拍手) この蕎麥に餛飩粉を入れるのは極くやさしいのでありますが、市民の精神に餛飩粉を入れて、よく長く引張るやうにしようといふことは、これは却々難しい。「町會は即ち大都會の餛飩粉なり」(笑聲) まあさう言ふ格言は、セークスピアか何かにあつたかも知れません。現今の大都市には餛飩粉がチョット缺乏して居るから、この町會が出来て、町會で市民の團結と言ふことを一層確實にしなく

ちやならんことゝ存じて居ります。

私が町會長になりましたのは恰度震災の時でしたが、震災の後は御承知の通り人の心持が非常に荒れて居りました。それでその當時、私の作つた發句を思ひ出しますが「秋の風たがひに人を怖れけり」こんな發句を作つたのでありますが、震災の後は人の顔を見ても怖いやうな氣がした、何をせられるか分らんと言つたやうな氣分がありました。それで町内が寄集つて夜警をしたり、色々する必要がある。斯ういふ必要から東京の町會といふものは震災前は五百幾らであります、震災後急に増えまして千三百幾らといふ町會が出来ました。只今では三千五十八ですか、三千餘りになつて居ります。

### 利益と弊害

斯ういふやうな風に互ひに助け合ふ必要から生れて居ります。又町會をやつて居ると實際利



益なことが多々あるのでありまして、これは一つのある町會の例であります。肥の汲取に一年百七十何圓掛つたのが、町會が出来てから六十圓か七十圓かで済んで仕舞つた、と言つたやうな實例があります。町會はこの汲取の話までしなければ徹底せぬのであります。甚だ御粗末な話であります。然しまたさういふ所まで、凡ゆることをお世話をしなければ、市民生活といふものは旨く行かないので、唯机の上から、高い所から上品なことばかり言つて居るだけでは、饅頭粉が旨くくつつかないと言つたやうな気分になるのであります。(拍手) それでは、そこが却々難しい。先づ東京邊りで町會をやつて居りますと、町會が出来た爲めに色々町内が非常に具合良く行つて居りますが、又町會には夫々弊害もありますので、何時か東京市の關係の人が集つた時に、東京市の町會にはどんな弊害があるかと言つて調べて見たことがあります。さうすると、分類すれば色々ありますが、先づ斯ういふやうなことがある。一つは町會の中に黨派の關係からして選挙に町會を利用するといふやうな弊害がある。又第二には或る

人が、特に勢力を擴張しやうとして、自分の乾分を町會の役員に無理にしやうといふやうな弊害がある。第三には町會が色々會費を取立てたりなんかして居りますと、つい何時の間にか會費が溜つて来る、さうするとそれがいや何處かへ遠足しやうとか、いや新年宴會をしやうとか、食ひたい、飲みたい、見たいと言つたやうなことが随分あります。それから第四には、色々町會を背景にしてそんなものまで募集しなくても良からう、と思ふ寄附金を募集すると言つたやうな、まあ四つ位さういふ風な弊害が東京にあると言ふのです。それは詳しく御説明申上げやうかと思つたのでありますが、餘り詳しく御説明申上げて、若し何か貴方々にさういふお話をして居るのを、外の町會員が聞いたりして、さういふことを東京でもやつて居るんなら、大阪も負けちやいかんと、思ふといけませんから、餘り詳しいことは申上げません。然し何處までもこれは東京の話でありまして、飲み食ひしたいと言つても、これは東京の話で、大阪にはさういふことはなからうと思つて居りますので……(笑聲・大拍手)



情理を盡し弊害を去る

こちらへ参りますので、私は實は、雜司ヶ谷の町會の最近の決算書を一寸参考にしやうと思つて持つて参りました。所が自分の町會の決算書を見ますと言ふと、どうも皆様の前でお話し難いことが矢張りあるんです。(笑聲) 今日には御同役の間柄だから、ぶちまけてお話するのですが、どうか市長さんなんかには内證にして置いて頂きたい。(笑聲) それは飲んだり、食つたりすることはいけないと何時も言つて居るのでありますが、恰度私共の町會は地震の時に出来たので、九月一日が決算になつて居りますが、その昭和十一年度の決算をこちらに來がけに見た。所がどうも困つた費用がある。それは私共の町會は先づ収入が三千四百圓、支出が二千六百圓と言つたやうな町會ですが、その中に雜費がえらい澤山、十一年度に出て居るのであります。これはどうしたのかと思つて調べて見ると、私が拓務大臣になつた祝賀會の費用がある。

五百十四圓とかいふ費用が出て居る。これは困つた、これを大阪まで持つて行つて、御覽に入れるのはどうか知らんと考へたのです。然しその中にまア私が三百圓寄附をしまして、さうして町會が二百二十圓かそこいら出しまして、祝賀會といふのをやつて居る。これが決算に出て居る。これはきつと區長さんが見たら叱るだらうと思つて、今からヒヤ／＼して居る。けれどもこれはあの當時、まア私なんか町内から初めて大臣が出たと言つて、何でも祝賀會を開くと言つて喧しく言つて仕様がなから、斯ういふ時局柄だからと言つて止めさせて居た所が、恰度十一月頃になつて——あれは三月に内閣が出來まして——十一月になつてどうしても何か一遍やらして呉れないときまりがつかんといふのです。それで仕方がないので、君方からさうやつて宴會をして呉れるなら、自分としても黙つて居れん、招び返さなければならん、さうすれば仰々しくなるから、それなら持合ひで行かうといふので、私が三百圓出して、町會から何ぼか出して貰つて先づ祝賀會といふものをやつたのです。これは洵に私としては申上げ難



いことで、斯ういふことは、なるだけやらんやうにすれば良いのでありますが、そこが机の上と實際と違ふ所なんです。(拍手) こゝが却々難しいのです。それは嚴格に四角四面に言へば引越して行つても蕎麥を配るなんて、そんな餘計なことはしなくても良いといふことになりま  
す。引越し蕎麥などいふものは餘計なことで、それは蕎麥を配らなくつても親切にすれば良  
いのでありますけれども、其所が人情でさうは行かないものであります、その呼吸でありま  
す。詰り情理は盡すけれども、その弊害がないやうに互ひに慎しむ、この心懸より外に町會を  
旨く導いて行く方法はないのであります。(拍手) あゝやつてはいかん、斯うやつてはいかん、  
といふならば洵に樂なのであります、さうも行かん場合があるのでありますから、心持はよ  
く疎通させて、さうして弊害のないやうにして行く、そこに苦心があるのであります。

それです、これから町會のことを貴方々がおやりになりました、矢張り同じやうに苦心  
されることがあると思ひます。さういふ時分に區長さんや、市長さんからお叱りを受ける、「叱

つてもさうは行きません」と反抗してはいけません。「洵に恐れ入ります」と頭を下げて行かな  
ければいかんです。然し乍らさういふことだけでは町會長は勤まらんです、頭は下げます  
が、まア成可く弊害のないやうにして、そこを旨く取持つて、さうして、蕎麥を配る位の程度  
のことはして行く、斯ういふ氣持でなければ町會長は却々勤まらんです、貴方々のこれからの  
御苦心も、私としては非常に御同情を申上げる次第であります。(大拍手)

それで、町會をして餘り過なからしめると云ふこと並に町會設立の趣旨を完うせしめるとい  
ふことの爲めに、私は二つのことを希望致します。その一つは「親切に世話をする」と云ふこ  
とであります。これはもう説明をする必要はありません。第二番目には「會計を明かにする」  
と云ふことであります。親切に世話をして、會計を明かにする、何でもないこと、當り前のこ  
とです。然し乍ら十數年間經驗をして來て、矢張り煎じ詰めると、この二つのことになつて仕  
舞ふのであります。會計を明かにし、親切に世話をする、これだけの氣持で、どうしてもよく



やらないと何處からか苦情が出ますから、その覺悟が大變に必要であります。

### 國民精神總動員と自治

今一つはこれだけ申上げて置きたいと思ふことがあります。今度自治五十周年といふことになつて色々祝賀會、記念會等が設けられます。所で一方ではこれは洵に淡白な話をしますが、二十年前はデモクラシーで非常にいぢめられた。此頃はファシヨで空氣が餘程違ひます、さうして往々世間の人は誤解して、ファツシヨの流行る時代でありますから、自治の影が薄いといふやうな感じをして居る人があります。これは大變考へ違ひであります。斯ういふやうな時局であればあるだけ、自治を旺んにしてその根底からそれを培ふといふ覺悟がなくなつたらん。五十周年の機に當つて我々がどういふ心持があれば最も國家に貢獻をするものかと云へば、自治といふことが益々必要なものでありまして、決して影が薄くなつたものではない、大いに影が濃くなつたといふ、この覺悟を持つて居ると云ふことであります。疑ひの心があつては力が這入りません。疑ふことなく、どうしても自治の根底に立つたことでなければ、國民精神總動員は役人ばかり喋り廻つても、自治の根底からこれが盛上つたものでなければ、國民精神總動員は空回りするのであります。(大拍手) どうあつても諸君のやうな、自治に直接關係のあるやうな人が、成程國民精神總動員で行かなければならん、といふ氣持になつて、初めて國民精神總動員が地につくのであります。斯ういふ進み方をしなければ日本は健全な發達は出来ません。

私はそのことを非常に考へて居りますが、恰度こちらに参りまして、大阪市役所の町會十則と云ふものを見せて貰つたのであります。町會十則といふもの、第一に書いてありますのに「和を以て第一義とす」と書いてある。喧嘩してはいかん、一緒になつて一致して行かなければいかん、と云ふことが書いてあります。この第一則を見ると、これはイタリーのファツシヨ



と同じことなのです。これは眞剣のファツシヨの人間から、直接聞いたことなのですがどういふ意味かと云ふと「バインド・ツー・コンバイン」だ、といふことを英語で説明して呉れた。

御承知の「矢が一本であつたら折れるが、三本一つに引括れば折れない」といふ毛利元就の遺言の話を聞いた彼等は「それがファツシヨだ」と云つて居りましたが、それでは、ファツシヨはイタリーよりも三百年も古くあつたので、日本の方がファツシヨの本家なのです。(拍手)さういふ風に思つたのであります。ファツシヨを獨裁で行かう、それはイタリーが國の事情に依つてファツシヨを獨裁で行かうと云ふのであります。日本はファツシヨを獨裁で行かなくてもやれるのですから、何もイタリーの獨裁の方法の眞似までしなくても宜しい。その精神の結束と云ふ「和を以て貴しとす」といふことは聖徳太子の憲法の第一條に載つて居る。昔からファツシヨです。唯日本流のファツシヨで、バターが這入つて居ないと云ふことだけです。(拍手)

その次に町會の第二則といふのを見ますと、「常に全體主義の立場から活動すること」と云ふ

ことが書いてあります。全體主義の立場から活動すると言ふこと、これはドイツのナチスの精神であります。ナチスの指導精神といふのは何であるか、個人の利益よりも全體の利益を先にせよと言ふことであります。ドイツ語で「ゲマインヌツツ、フォアー、アイゲンヌツツ、」個人の利益より全體の利益を先にせよと言ふのがナチスの指導精神であります。だから町會の精神はナチスの精神を書いてゐるのであります。この全體主義と言ふことを行ふ方法として、ドイツでは獨裁政治を必要として居るのでありますが、日本では少しも獨裁政治を必要としなくても、全體主義で行くと言ふことが自然に出来る。昔から神話に八百萬神様の集會がある。此八百萬の神の集會の中には、日本風のデモクラシーもあれば、日本風のファツシヨも含んで居る。日本流に言つてバターが這入つ居らぬと言ふことだけでありますからして、これで安心してやつて行ける。私は大阪に参りましてこの町會の十則を見まして、大阪は成程なか／＼ハイカラにやつて居る、第一番にファツシヨを主張する、第二則にナチスを主張する、餘程ハイカ



ラな行き方である、斯う言ふ風に感じたのであります。物は考へ方であります。さうして外國のあゝ言ふ色々の動と言ふものは總て我々はこれを識ることが必要であります。唯識することは必要だが、それを食つて見て滋養になるものは吸収する、滋養にならん部分は糞にして出して仕舞ふ、(大拍手)これが日本の八百萬の精神であります。町會、我々のこの自治の細胞である所のこの町會といふものは、何處までも日本風の精神の下に立つて、日本風のフアツシヨ、日本風のナチス、日本流に總て進んで行つて結束して行く。どうしても我々の自治の精神が根柢になつてその上に築上げたものでなければ本物でない。私は繰返して言ひますが、國民精神總動員は、諸君が本氣になつて呉れないと、精神總動員が空廻りしますから、どうしても諸君等自身が一緒になつて精神總動員をして貰ひたい。

私は今日この會場に臨みまして、皆様に特にお願いしまして、大阪の町會の發達を希望致しまするのは、私が東京市小石川區雜司ヶ谷町會長といふ資格に於て御同役として皆様の充分な

御奮闘をお願い致しまして御挨拶と致しましたのであります。(大拍手)



## 警察官に親しめ

こゝにいふ書物の内容の中へ、こゝにいふものを入れるのはごうかと思ひましたが、警察官程一般大衆と接觸面をもつてゐる役人は他にない。のみならず、その接觸の圓滑如何は直ちに一般生活に影響を齎すもので、そう言ふ點から、警察官を理解し、警察官も亦一般の福祉を希ふ様になれば、こんな喜ばしいことはないので、この一篇を敢て挿入しました。

224

今日は「警察官の夕」と言ふこととなつて居て、警察官諸君が日夜治安の維持とか、傳染病の豫防・撲滅等に盡瘁せらるるお骨折に對し、國民の一人として感謝の言葉を述べる筈になつて居ます。然るに私は今日でも尙警察官の仲間の一人の様な心持がありまして、今日改めて他所々々しく、他人行動で警察官諸君に御禮を述べる事が、何だかきまりが悪い様な心地が致します。

ます。それと言ふのは、私が會て十四年餘りも内務省系の役人を致して居ましたが、其間に大分、石川、熊本、京都各府縣の警察部長を勤め、又警保局の書記官とか警保局長などを歴任して、私の肩書にはいつも「警」の字がくつ付いて居た。それ故私は、今日でも警察に對しては何だか責任がある感じが致します。それで人が刑事巡査が人權蹂躪をするとか、一般巡査が非常識だとか何とか批難されますと、私も一緒に批難されて居る氣持であります。これと同時に今晚の様に、世人が警察官の日夜の勞苦に對し感謝の會を開いて下さると言ふ時は、私も亦何となく嬉しく感ずるのであります。それで今晚は先づ最初に、私は國民の皆様に今晚のお催しに對し、警察の仲間の一人として深く感謝の意を表したいのであります。

225

何だか主人の挨拶か、お客の挨拶か分らぬやうになりましたが、私のやうに、役人となる以前に田舎に居て、警察署とか駐在巡査とかを、人民の側から取締られる方面から見て居まして、其後役人となつて取締る方の側から見る様になり、近頃は又取締られる側から見る様にな



り、こんな経験を経て來まして、扱今日の警察と二三十年以前の警察とを比較して見ますと、一方に於て警察官の素質も非常によくなつて居ます。又國民に對する取扱方も非常に上手になつて居ます。今日では決して一般國民を犯罪人扱をする様子が無くなりました。これと同時に一般國民の方でも亦、警察官に對して非常に了解が出來て來て、決して警察官を仇敵のやうに思ふ氣持が無くなりました。以前は交通警察の上から見ても、一般國民に自制心が乏しくて人道・車道の別を守らず、左側通行も正確に行はれば、自轉車などを道の眞ん中に打棄て、置いて、交通の妨害をしたり、極めて無秩序であつて、何でも警察から叱られる所迄は進んで見よ、叱られるまではやれと言つたやうな風でありました。そんな心得方では警察事故が多くて困る。それが今日では道路の交又點なども赤い電燈、青い電燈で交通整理が自然によく守られるやうになりましたことは、たしかに我國の文化の進歩を語るものでありまして、一般國民と警察官との間に互に理解が付いて來たことは大いに喜ぶべきものであります。

私が警察部長になつた時に、私が以前民間に居て、田舎の署長さんやお巡りさんの一舉一動やら生活向の事やらを、人民の側から見て知つて居ましたから、この経験が非常に私に役立ちました。そして何時でも警察署巡視の際に巡查に訓示する時は「何の警警處分でも一度處分を受ける人民の身になつて考へて見よ」と口癖のやうに申して居ました。考へて見ますと私などは其性格から考へて、最も警察官に不適當の人間だと自分も思つて居た。それにも拘らず内務省生活の十數年の殆んど九分迄も警察の仕事をして居たのは、要するに警察處分をする時に、先づ一度處分を受ける人民の側に立つて考へて見ると言ふ氣持、この氣持が最も警察官に不適當な私を、最も適當なる者の如くに爲さしめたのではないかと思つて居ます。

そこで今日は一つ警察の方の味方になつて一般國民諸君に對して私は反對に「少しは警察官の身になつて考へて見て下さい」と申し上げたい。警察は良民の保護者でありますが、一面又不良民の取締をする役目があります。それ故、良民には丁寧親切を旨とすべきであります。不



良民には怖がられなくては役に立たぬ。巡査が始めて新任される時に、宣告文と言ふものを讀んで聞かされる。「巡査たる者は常に人民の保護者たる事を記憶し、之に對し丁寧親切を旨とし、而も之に相狎昵するが如き事なく云々」と言ふ簡條があります。「親切にせよ、狎れくしくしてはならぬ」と言ふのですから、中々むづかしいのです。

次には申す迄もなく警察官は極めて薄給であります。然るに職務の爲とは言ひ乍ら、強盜に出遇つたならば命がけにこれを逮捕せなければならぬ。また傳染病流行の際に、防疫事務に従事することも嫌な仕事で、ともに命懸けの仕事であります。私が某縣の警察部長を勤めて居る時に、擊劍を教へる巡査部長がありました。その部長が巡査に對して賊が眞劍で立ち向つて來た時には、中々竹刀でパン／＼打つやうなことは出來ない。双方共に劍と劍が一尺も二尺も離れて中々互に容易に近寄るものではない。若し賊に對して打込んだ時に、賊に受けられたならば決して後に退るな、必ず一度其勢で體當りを喰はせろ、そして後に退れば助かるが、直ぐに

後に退らうとすれば必ず横に拂つた一文字で切られるぞ、と言つて教へて居た。ほんとうに警察官は自分の職務とは言へ、全く眞劍な決死の覺悟で練習し修養せなければならぬのである。だから賊の爲に身命を失つたやうな人とか、傳染病豫防に従事して感染して死亡した人等に對しては、國民として十分の理解を持ち之を表彰し之に感謝する方法を盡さねばならぬと思ひます。又かの犯罪檢舉の如きも中々に並大抵の心勞ではない。之も某縣で或る有名な刑事課長が居た。私がこの課長に「君は犯罪捜査に度々徹夜して居るやうだが、此仕事が嫌になるやうなことはないか」と訊きますと、某課長は笑つて「私は犯人逮捕が面白くて／＼たまらない程面白いのです。例へば蚤を取る時に指で押へれば一瞬間の先に飛ぶ、又押へる、又飛ぶ。これが間髪を容れぬ機敏さが無くては蚤が捕れぬ。犯罪人も同様です。機敏にやらなくては後から後へと手當が後れます。これを間髪を容れぬ一瞬に先廻りをして捕へることは何とも言へぬ愉快さです。丁度獵師が鹿を打つやうなものです。これが鹿と違つて對手が人間ですから、これ



ほど面白い仕事はありません。」と言つて居た。實際これ位の熱心と興味が無くては仕事が生きて來ない。これが單にお役目だから、止むを得ず時間通りに四時迄勤めると言つたやうな事では駄目である。警察官の仕事は、かくの如くに機敏と興味を持たなくてはならぬのである。又其課長がスリなどを取調べると、大概の者は「且那に遇つては敵ひませぬ、年貢を納めます」と言つて白状する。私はこの課長になにか取調べの秘傳があるかと言つて見ると、別に秘傳はないが、第一に彼等の隠語（カクシ言葉）を使つて急所を押へて聽けば大概は白状するのである、と言つた。隠語と云ふのは、例せば懐中時計を饅頭と言ひ、金側時計を（鶯）と云ふ類で、「貴様は刑務所を出た其晩に、某所で番犬に菓子を食べして置いて、土藏の錠前をねち切つて開けたであらう」と言ふやうな場合に「貴様は別荘を出た足で、姑に土産をやつて、アソコの娘を口説いて安産さしたらう」と言ふ。私も泥棒の合言葉は少々苦手ですが、要するに土藏のことは娘とかお染とかいふ。番犬は姑で別荘は刑務所のこと、いふやうな類である。今日では

こんな隠語もだいふ變化して居るかと思ひますが、こんな風に警察官は泥棒の隠語迄覚えて、其途々に中々の勉強をして熱心に活動せなければならぬ。勞苦は中々容易ではない。私は世間から警察官が犯罪捜査の際に随分人權蹂躪のことをすると言ふ非難を聞きますが、之と同時に警察の人からは「中々前科何犯の悪人になれば、容易なことで白状するものでない。それを凡てを善人だと思つて居ては犯罪の捜査などが出來ますか」と言ふ。なるほど凡ての人を善人だと信用して居ては、犯罪の捜査などが出來るものでないと言ふのも無理ではない。私は一面長く警察の仕事をやつたが、更に一面では拓殖大學々長や帝國教育會長もやつて居る。教育の方から言へば「七たび尋ねて人を疑へ」と言つて教へます。又人の性は善なりと教へます。併し警察官をやつて見ると、人の性は悪なりと思ひます。又七たび尋ねて人を信用せよ教へます。然らば七たび尋ねて人を疑へと教ゆるのがほんとうか、七たび尋ねて人を信用せよと言ふのが本當か。これはどちらも本當なのです。人を教育するには人の性は善なりとの方面から物



を見なければならぬ。併し犯罪を捜するには、人の性は悪なりとの方面から考へなくてはならぬ。一般の人の眼から見ると、警察官は誰を見ても犯罪人扱ひをすると言ひます。そこがむづかしいのです。良民と泥棒と一緒にせられては困る。併し良民のやうな顔をして悪いことをする者も世間には少なくないのである。この點に就いて、私は警察の側から世間に對し、警察の立場に同情して、寛大な考へを持たれむことを望みます。これと同時に警察官諸君に對しては、實際世間では無理な取調べを受けたり、苛酷な拷問を受けたりする例も無いとは言へないのでですから、これは立場を換へて、取調べを受ける者の身になつて考へて、良民と不良民との取扱に、格段の注意を拂はれんことを希望する次第であります。

私が田舎に生活した時のことを考へて見ますと、一般國民は、政府の大方針などで、仕合せをしたり、迷惑したりすることは少ないが、駐在巡查や小學校教員などの善惡から、迷惑したり仕合せをしたりする事が多い。大きな方面よりも手近な小さな方面の注意が大切です。殊に

警察の方は直接に國民の利害に關係することが多いのですから、一層一般國民との間に諒解がつくやうにありたい。國民としては警察の仕事の立場に同情し、薄給を以つて、然も絶大の責任を負つて居る境遇に理解を持つて貰ひたい。又警察の方からは取締りを受ける者、處分を受ける者の身になつて物事を考へた上に無理のない處置をして貰ひたいのです。

何だか御禮を言ふのか、註文するのか、わからぬやうになりましたが、要するに國民は警察に親しみ、警察は國民に親しみ、良民と不良民の見開きをハッキリして、互に理解を持つて適切な處置、無理の無い處分、止むを得ない處分の行はれるやうに希望致したいのであります。終りに臨んで、重ねて警察官諸君の日夜の御心勞に對し深く感謝を致します。



## 世界教育會議

第七回世界教育會議を日本で開催する事は、一九三五年オックスフォードの會議で決定されたのである。爾來二ケ年間帝國教育會は、文部省、外務省、内務省其他官邊の熱心なる援助を得、又民間各種國際的團體並に民間實業家の多大の支援の下に其準備を進めたのであつた。それ故、此會議は帝國教育會が招待したと言ふよりも、日本國民全體が招待したと言ふ實況であつた。會議は昭和十二年八月二日から六日間開催したのであつたが、當時私は久しく膽石病に悩まされて慶應病院に入院して居た。

あきらめて病院にあり餘花の雨

人になれぬほどなすて秋渾一

とは當時の私の述懐であつた。然るに愈々期日も切迫してお客さんが一千名も外國から押しかけて來て見ると、私としては責任上實に苦しかつた。少し生意氣な事を言ふ様だが、從來の我國に於ける國際會議は動もすれば外人の意を迎へる様に、又は何時も受動的に消極的に動く傾向があつて少しも日本帝國としての威嚴と見識とが現はれて居ない。私には之が不満であつた。今回の會議では、我々は決して偏狹であつたり、倨傲な態度があつてはならぬと思ふが、同時に又卑屈で諂諛であつてはならぬ。それ故、開會の挨拶などはどうも他人に代理して貰ひたくない。是非共自身が出て喋りたい。それで一ヶ月もベッドの上ばかりで寝て居たのが、急に起きて燕尾服を着、腦貧血を豫防する爲に頓服薬を飲まされて、壇上に進んだのであるから、口は達者でも兩脚がふらついて片手は何時もテーブルを握つて居たのであつた。然るに私の病氣を推して出席した事が却つて満場の同情を買つて、無事に成功裡に演述する事が出來たのは全く怪我の功名と言ふべきであつた。



此會議は幸に各方面の協力によつて十分の成功を収めた。單に教育的研究の上みならず、實際親善の上にも亦多大の効果があつた事は事實であると思ふ。現に米國などでは、日支事變以來、國を擧げて日本に悪感情を抱いて居るが、獨り世界教育會に列席した數百の教育者諸君は、敢然として之に屈せず、日本の真相を説明するに努力して呉れて居る事は私として實に感謝に堪えない所である。

### 代表招待會宴席に於ける挨拶

——七月三十日於東京會館——

只今司會者から御紹介のあつた通り、私は先頃から慶應病院に入院中である。今病院から馳つけたばかりであつて、主人役として甚だ遺憾なところが多いかと思ふが、不行届の點は病氣の故を以つて御勘辨を願ひたい。

此處にモンロー博士を始め、世界教育會議に参加せられる、各國代表諸君の御來臨を得たことは、私の衷心より欣快とするところである。なほこの會議の準備に方つて我々に御協力を願つた日本人側各位、當局代表者、各種教育團體に屬する方々が斯くも多數御出席下されたこと



も洵に愉快に堪へない次第である。

會議に關しては去る二十六日モンロー博士が立派なラヂオ講演を行はれ、我々日本人に對しその説明をして下さつたが、その時博士も申された通り、我々は現在、我國教育制度改善の問題に關し慎重な研究を重ねてゐるところである。この秋に方り東京に世界教育會議が開催されるといふことは、蓋しその貢獻するところ少なからざるものあるべく、我國教育制度の整備を期する上に多大の便益が與へられるのであらうと考へる。

日本人として、我々は衷心より諸君を御歓迎申上げたい。景色を眺めたり物珍らしさに見物して歩く外國人は多數我國を訪れて來るが、我國の文化を見、我國民の心の底まで覗いて行く人は餘り無いのである。然るに諸君は我々の心を知らうとして來られたのである。従つて諸君には我々の心の底を覗いて我々を理解して頂くといふことが出来るであらう。斯様な方々を日本に迎へると言ふことは、我々の幸甚とするところであり、且御歓迎申上げるところである。

我々は諸君に大いに期待してゐる。よく諸君が我々を知つて下さつて、單に外面的だけで無く眞に我々を理解して下さいさるやう願ひする次第である。

諸君は悪い時におゐでになつた。といふのは唯今は大變氣候の悪い季節で、東京人の多數は田舎へ避暑に出かけてゐる時である。多分諸君は既に蚊の襲撃を受けて悩まれたことと思ふ。尙又率直に申上げて今は北支事變の爲に物情いさゝか穩かならぬものがある。教育家諸君を日本に迎へるには大變悪い時であるが、我々の有りの儘の姿を見て頂くには、或は反つて好都合かも知れない。斯様な事態下に於てこそ、諸君に我々が正に如何なる國民であるかを知つて頂くことが出来ると思ふからである。この混亂の中から諸君は何物かを、我々の温かい心を、掴むことが出来るであらう。斯様な事件は諸君をして我々を更によく理解せしめる助けになるであらうと考へる。國際間の理解は互に知り合ふことに依つてのみ齎らされるものである。外面だけ見たのでは誤解を生むことになるかも知れないが、諸君は我々の心の奥底まで覗いて下さ



つて、我々を知り理解し、我々が何故斯様なことをするかといふことを知つて頂きたい。我々の長所も短所も共に見て頂きたいのである。觀察にあたつては偏見<sup>へんけん</sup>を去つて公平に我國民を見て頂きたい。どうか蚊に惱まされたことだけを記憶せられないように願ひしたのである。公平な批評は我々の歓迎するところであつて、さうして觀察し批評して頂いたことは如何なる提言でも御忠告でも有難く承はる。

今晚諸君の御來會を得たことを重ねて感謝したい。来る月曜日から開催されるこの會議が、日本のみならず此處におるでの諸君の、母國にとつても多くの好收穫を齎らさんことを私は希望するものである。

私は唯今病院から馳けつけたばかりで、口と舌は達者でも足許は覺束ない有様であるから、成るだけ長く此處にゐよいとは思ふが數分間の後には病院へ歸つて行かなければならぬかも知れない。その點お許しを頂いて置きたい。しかしその前に、私は來るべき會議を思ひ諸君の御自愛を祈ると共に立派な收穫を得られむことを希望する次第である。最早醫者の許可時間も無くなつたから、病院へ歸らなければならぬ。熱でも出なければまた諸君にお目にかゝることも出来るかと思ふが、萬一醫者からそれを禁止された場合は何卒御勘辨を願ひたい。



## 開會の挨拶

——八月二日午後八時、於東京帝國大學安田講堂——

本日より第七回世界教育會議をこの所に開くに當りまして、茲に参加されました國の数は三十九ヶ國に及び、外國より態々來られた方、並びに日本に居られる方で御参加下さいました外國人を合せて約千名、並びに日本帝國の教育代表者二千名、合せて三千名の諸君がこの一堂に會して居られるのでありまして、斯くの如き盛大なる國際會議は、未だ會て見ない所でありませす。(拍手) 我々は何となくこの所に入つて、この雰囲気ふんいきだけを見まして、私は斯くの如き喜びに満ち、興奮を感じた事は無いのであります。(拍手) さうしてその入つた瞬間に於て、既

に今回の目的の半ばを達せられた様な氣持がするのであります。況んやお蔭を持ちまして、只今司會者の言はれました私の病氣も、この皆様の元氣ある御顔に相對しまして、それも半分位は癒つた様な氣持がして居ります。(笑聲・拍手) 茲に今回御集り下さいました内外千有餘の代表者諸君に對しまして、私は地元の帝國教育會長として、又世界聯合教育會副會長として、重ねて深甚なる御禮を申し上げたいと思ふのであります。(拍手)

猶、この際に一言私は自分として言はなければ氣の濟まぬ事があります。それはこの世界教育會議の創立に際しまして、一九二三年にアメリカのサンフランシスコに於て、この創立會議が開かれた時分に、我々の尊敬する先輩の澤柳政太郎君がこれに關係して居られ、以後非常に熱心にこの會議の爲に斡旋されたことでもあります。従つて今日第七回世界教育會議が日本に開かれると言ふことは、全くこれは澤柳君の遺志を我々が繼いだ様なものに外ならない様な感じが致します。この機會に於て諸君と共に澤柳博士の遺徳を偲び、その功績を追懷して感謝するの



は、我々の光榮ある責務である事を感じる次第であります。(大拍手)

惟ふに教育なるものは文化の進歩に伴つて、極めて近頃は知識に偏し、又専門に分れ、多事多端に互つて居る様でありますけれども、要するに教育は人を作る事であります。(拍手) 又人の精神を陶冶する事に外なりません。即ち我々が考へて見るのに、人間の爲すべき仕事は種々様々ございますけれども、凡そ神様の斯うありたしと思はれる事柄を御助けするといふ位高尚な仕事は無いと思ふのであります。一粒の草の種でも、或は一本の苗木でもこれを植ゑてその成長を見、花を咲かせ、實を結ばしめると言ふことは非常に楽しいものであります。況んや萬物の靈長である所の人間の子、この神様の子、神様の産付けられた、神様から授けられたるその智能を、全く阻害せられることなく、その發達を扶けて行くと言ふこの教育事業ほど、我々人類に取つて最も高尚にして、意義深き事業は無いと考へるのであります。(拍手) 従つて今回この第七回世界教育會議の結果に依りまして、我々は更に一步々々世界人類の發達、その

神様の希望する通りに一足でも世界の人類を進めて行く、斯う言ふ事業に役立つべき仕事を、この會合に於て爲さるゝかと思ひますと、他の人が何と言はうと私共に取つては心中非常に愉快に堪へません。斯くの如き誇りを感じるのは、これは全く教育者のみが有する所の特權であると思ふのであります。(大拍手)

日本の教育は丁度只今より以前七十年間の經驗の結果として、その内容に於て改善を加へ、その制度に於て改革を考慮しなければならぬ時に達して居るのであります。斯かる時期に於てこの世界教育會議を開かれるといふことは、我々、我國の教育そのものから考へて見ましても極めて適當な、時宜を得て居るものと考へるのであります。この教育會議の結果をよく仔細に我々が考究するならば、我々の今後爲さねばならぬ所の行き方に就いて、非常に有益なる示唆を得、又極めて重要な參考資料を得ることを信じて疑はないのであります。

私は去る月の二十六日にモンロー會長がラヂオを通じて爲された「日本の教育家諸君に告



ぐ」といふ有益なる放送を思ひ起します。モンロー會長がその放送の中に述べられた一つの事柄として、世界の凡ゆる人類の國際的善意の涵養、これは教育者を通じて爲すことが非常に有力であるといふ意味の事を申述べられて居ります。全くそれは我々も同じ感じを抱くのであります。我々日本人として今日まで或は經濟使節といふ様な經濟關係の人が來ました。しながらさういふ人々は多くは利害に囚はれて居るといふ様な感じを抱かしむる嫌ひが無きにしもあらずでありました。(拍手) 又政治家が來ました。それは感情に支配せらるゝやうな疑ひを持つ餘地があつたかの様に思ひます。(拍手) 獨り教育家といふものは、非常にその考へ方が公平である。さうして少しも利害に囚はれることが無いのでありまして、深く物を表面的でなく根柢的にこれを知らんとする所の素質を有つて居られるのであります。この様な意味に於きまして私は、この世界教育會議の今回開かれますことは、日本の現状を知り、日本の現状を深く根柢から理解し、さうして國際的の善意を涵養するといふことに就きまして、この位好い時機は無いと考へまして、特に教育會議の結果に就いて多大の期待を有つて居る次第でございます。(大拍手)

唯我々日本人として少し心配でありますことは、何分我々は歐米諸國とは餘程文化の出發點を異にして居ります、又その生活の習慣が違つて居るのであります。疊の上に寝たり、刺身を食つたり、鰻を食つたりする様な習慣が非常に違ふ。(笑聲) さういふ様な事の爲に我々として思ひがけない所の誤解を受けたり、又斯ういふことは理解されて居るだらうと思はれることが理解されない様なことが多々あるのであります。(拍手) それ故に今回皆様——外國からおいでになりました皆様に對しまして、日本の文化を理解し、日本人を理解して貰ふ爲に、我々は各種の展覽會その他をやつて居りますので、十分これ等の事を御利用あらんことを希望致す次第であります。唯私は一個人として、外國から來られた方に、我々日本人といふものを了解して頂く爲には、如何にすれば便宜であらうかといふことを自分自身が苦しんだ結果、次の三



つの事柄を試みに申上げて見ます。これに依て、日本人といふものは何ういふものかといふことを知るのに、少しでもお助けになれば仕合せであると思ふのであります。

即ち外國から來られた方に第一に希望することは、丁度只今我々日本の各地に於てラヂオ體操の會といふものをやつて居ります。これは午前六時から三十分間に亙つて、老若男女を問はず學校或は工場、さういふ所に集まつてやつて居るのでありますが、その光景といふものは、洵に珍らしい光景でありまして、労働者も資本家も一緒になつてやる。年寄も子供も一緒になつてやつて居る。(拍手) さうして何等屈托くつたくなくやつて居るのであります。日本の古い言葉で申しますれば、八百萬の神々が集まるといふあの氣分が現はれて居るのであります。然しながらこの事は洵に外國人に取つて分りにくいと思へますから、私は日本人の解釋を用ひませぬ。唯朝少しお睡いかも知れませぬが、朝六時に起きて廣場へ行つてラヂオ體操の會を御覽下さいませすれば、(笑聲) 恐らく或は日本人といふものは斯ういふものであらうかといふことを

知る所の一つの、ヒントをつかむことが出來はせぬかといふことを、まづ第一に申上げて置きます。(拍手)

その次に申上げたいことは、毎年我が日本に於きましては 陛下から勅題を賜はつて歌を詠進する。御歌始の會といふのがあります。世界を通じて私はまだ御歌所といふ様な役所のある政府を見たことはありません。(笑聲・拍手) 又各國民を通じてその歌を毎年差上げるといつた様な事のある國を未だ聞いたことがございませぬ。日本は、日露戦争の如き國の運命を賭して争ふ様な時にも、猶且この御歌始の會といふことが引續いて行はれて居つたのであります。その際に、我々も記憶して居るのでありますが、その明治三十八年の「新年の山」といふ勅題の時に、大須賀といふ歩兵二等卒の人の妻君が作つた歌に

つはものに召しいだされしわがせこは

いづこの山に年むかふらん



といふのがございます。即ち歩兵二等卒の妻の作つた歌が預選に入つたのであります。斯ういふ光景、日本人を好戦國民と言はるゝことは洵に批評者の自由であります。一面に於て日本人は戦争の最中に斯くの如き歌を作り、さうして上下を通じてこの事を樂しむむといふ——天然を樂しみ、文學を樂しむ、といふ觀念を有つて居るといふ事を御考へにならんことを希望するのであります。(大拍手)

今一つ、第三に申し上げたいことは、關西の方に参りますると高野山といふ宗教の山があります。千百年來の有名な所でございまして、其處には澤山の墓がございます。その墓の中に、昔三百五十年程前、所謂豊太閤の朝鮮の戦の際に、その戦の濟んだ後で島津兵庫頭が作りました「敵味方供養の碑」といふものがあります。即ち死んだ者は敵も味方も一緒に供養をして、その冥福を祈るといふものが三百五十前に出来て居ります。又先般大正十二年の大震火災の時に於きましての死者の冥福を祈るために、震災記念堂といふものを拵へてございしますが、この中

にも五萬何千人といふ日本人の死者の名前を書いて入れてあります。同時に又各外國人で日本に居つて歿くなられた人人、イギリス人、アメリカ人が最も多いのであります。凡そ二百七程の外國人の家族、是は私に分つた所の總てのものであります。その分つた所の歿くなられた外國人の名前を、總て同じ様に冥福を祈る爲に書加へて、高野山の上に祀られて居るのであります。日本は一面に於て、昔から赤十字社精神ともいふべき一種の精神があるといふ、この心持も一つの參考資料として御考へを願ひたい。(拍手)

要するにラヂオ體操の様子を御覽になり、さうして御歌始の會といふことがあるといふことに就いての御研究を下さり、又高野山に敵味方供養の碑といふ様な昔から斯ういふ様な、習慣があるといふこの三つの事柄に就いて、多少なりとも考慮して下さるならば、日本人といふものは如何なるものであるかといふことに就いて、或は多少なりとも參考になるかと思ふのであります。(拍手)



私は終に臨みまして、今日斯く盛大に開會式の出來ますことを衷心から喜びます。さうして今より六日間に亘りまして、モンロー會長の指導の下にこの會議が進めて行かれますれば、必ずや所期の目的を達すること疑ひないと思ふのであります。さうして同時に國際的親善とか、或は國際的善意の涵養かんようといふことは、既に私がこゝに入つた瞬間に於てその半ばを達せられた様な感じがするのでありますから、六日間を通じてここに居りますれば、必ずやもう何も求めなくしてこの事が十二分に皆様に了解が行く程効果のあるといふことを、必ず六日の後には見ることが出来るであらうといふことを衷心より期待し、且つ祝福して居る所でございます。茲に謹んで皆様の御會合に對し重ねて満腔の感謝の意を表して御挨拶と致します。(大拍手)

### 閉會に際して

——八月七日——

一昨年オックスフォードに於きまして、この第七回の世界教育會議を、東京に開くといふ事が確定致しました時に、私等は實は内心相當に心配をしたのであります。初めて斯くの如き會議を東洋に於て開くことではあるし、又千人に餘るやうな多數の御客を迎へるといふ事に就いて、果して満足に準備が出来るかどうか、といふ事を非常に不安心に思つて居つたのであります。然るに今回愈々この會議が開かれてみると、今日に至る迄何となく我々は非常に安心したやうな氣持であります。よく今日迄斯う云ふ風に出來たことであると、心秘ひそかに非常に安堵あんどの



胸を撫でて居るのであります。(拍手) 斯う云ふやうな場合に外國の言葉で何と申しますか知りませんが、日本の言葉では案ずるより産むが易いと申します。(笑聲) この心持を我々の胸に浮かばしめて下さつたといふことは、要するに遠方からお出で下さつたところの人達が、この日本の暑い酷暑の……我々でも困るやうな暑い時であるにも拘らず、少しもお厭ひなく、又蚊に喰はれるやうな事も少しもお叱言を申されないで、(笑聲) さうして色々不便な事も我慢して下さる。斯ふ云ふ寛容な態度があるからして、我々が自分の心持をして、洵に今日迄の経過が案ずるより産むが易いといふやうな、安心の心持を抱く事を得たのであります。是は非常に遠方より来て下さつた方々の寛容なる御態度、並びにモンロー會長その他、役員諸君の非常なる御斟旋の結果と存じまして、この機會に特に御禮を申上げる次第であります。(拍手)

猶この際私は二つの希望を申上げて置きたいと思ふのであります。その一つは、この國際會議を通じて國際の善意の涵養並びに國際の親善といふ事が度々云はれて居るのであります。

これは洵に結構な事である。然し乍ら我々の希望として、我々の氣持としてはどうか、この國際の善意の涵養とか、國際の親善といふやうな事を押賣しないやうにしたい、(拍手) 押賣といふ事を外國語でどう譯しますか存じませんが、(笑聲) それを押賣しないように。斯う云ふやうな事柄は要するに双方の誠意の結果に於て現れる、その結果の形でありまして、國際親善といふものを目當にしてやるといふのでなく、誠意を以つてお互に交渉すれば自ら生れるといふふ合であつて欲しい。それ故私は、押賣しないやうにと云ふ氣持を持つて居るのであります。去る二日に初めて皆様とこの處にまみえる時に、我々はその瞬間に於て何だか我々の希望の半ばを達したやうな印象を最初持つたのであるが、幸ひにしてその後の経過は、我々の最初の印象をその儘に、いやより多く、より良く我々に印象付けることが出来て、さうして今日では如何にも我々と皆様との間に、本當に自然に湧いて出たところの親善、湧いて出たところの善意を、我々が掴むことの出来る感じの致しますることは、洵に御同慶の次第に存ずるところ



であります。我々のこの感じといふものは決して壓搾機械あつききかに掛けて砂糖黍さとうきびから糖分を搾り出すといふやうなことでなく、全く愛に満ちたたちねの母親の乳房から、自から愛の爲に滴る所の、そのお乳を舐めるやうな親善を我々は味ふ事が出来たのであります。(拍手・笑聲)この點に就いて、今後もどうかこの國際會議を押賣することなく、親善が自ら湧き出るといふやうな態度を、お互に取つて行きたいと思ひます。

第二に私の申上げたい希望といふものは、今やヨーロッパに於きましても、東洋に於きましても、洵に國際關係が面倒であります。願はくばこの教育會議をして、政治の凡ゆる煩ひからそれに遠ざかつ行きたい。(拍手)決して内部からこの世界教育會議を政治に利用するといふ事を考へることなく、また外部からしてこれを政治に利用するといふやうな目に遭はされる事なく、我々は純粹に教育家の本分を守つて、神様の爲すべき事、神様の希望さるゝ所の事、神様の生みつけられた所の其のものを、神様の御示しに従つて少しでもこれを御助け申上げてよ

き働きを我々がするのである。さうして其の結果として世界人類の幸福が増進されるのであると云ふ、この心持を持つて、凡ゆる政治から煩ひされることなく進んで行きたい。(大拍手)

斯くの如くして我々の心中に深い信念を持ち、正しい考へを持つて居つて、初めて世界教育會議が益々光を放つことが出来るのであらうと信じます。この點は敢て人に望むばかりでなく我々としても始終心掛けて行きたいと考へる事である。この二點を私の希望として、我々の心懸として申傳へて置きたいのであります。(拍手)

終りに臨んで、重ねて、今回遙々お出で下さいました皆様に對して、特に感謝の意を表し、皆様が御健康に、さうして愉快なる御旅行を續けられんことを此の機會に於て御祈りして私の御挨拶と致します。(大拍手)



國民の書

定價金壹圓

昭和四十二年二月二十五日印刷  
 昭和四十二年三月一日發行  
 昭和四十二年三月二日再版  
 昭和四十二年三月三日第三版  
 昭和四十二年三月四日第四版  
 昭和四十二年三月五日第五版  
 昭和四十二年三月六日第六版  
 昭和四十二年三月七日第七版  
 昭和四十二年三月八日第八版  
 昭和四十二年三月九日第九版  
 昭和四十二年三月十日第十版  
 昭和四十二年三月十一日第十一版  
 昭和四十二年三月十二日第十二版  
 昭和四十二年三月十三日第十三版  
 昭和四十二年三月十四日第十四版  
 昭和四十二年三月十五日第十五版  
 昭和四十二年三月十六日第十六版  
 昭和四十二年三月十七日第十七版  
 昭和四十二年三月十八日第十八版  
 昭和四十二年三月十九日第十九版  
 昭和四十二年三月二十日第二十版  
 昭和四十二年三月二十一日第二十一版  
 昭和四十二年三月二十二日第二十二版  
 昭和四十二年三月二十三日第二十三版  
 昭和四十二年三月二十四日第二十四版  
 昭和四十二年三月二十五日第二十五版  
 昭和四十二年三月二十六日第二十六版  
 昭和四十二年三月二十七日第二十七版  
 昭和四十二年三月二十八日第二十八版  
 昭和四十二年三月二十九日第二十九版  
 昭和四十二年三月三十日第三十版



永田秀次郎

著者

東京市河原町二條下ル 渡邊久吉

發行兼印刷人

發行所

東京都河原町二條下ル  
 電話 東京八八六四六五番

人文書院



版一卅

大阪朝日論說委員 釋 瓢齋著  
「天聲人語」執筆者

俗つれづれ

四六判三〇〇頁・價二・〇〇・送〇・一五

時に破邪顯正の斬馬劍を收め、貌姑射山に杖して俗腸を況ひ、歴史を採り、彩管をさる。或時は僧堂坐禪し悟道に精進する等。聖・俗・併せ呑む然も、天縱の四辯八音たる皮肉、洗練されたフモールは、その博覽強記詞藻豊富と相俟つて將に天一品だ。

版五十

大阪朝日論說委員 釋 瓢齋著  
「天聲人語」執筆者

瓢齋隨筆

四六判三二〇頁・價二・〇〇・送〇・一五

これなら「瓢齋隨筆」と銘を打つても恥かしくいざ、著者自身がまつておきの題名をつけた劃期的隨筆集が本書である。得意の短章に得意の横説堅説は考證と相俟つて深根固柢、全く独自の境地を拓いたもの云へ。

版六十

大阪朝日論說委員 釋 瓢齋著  
「天聲人語」執筆者

それからそれへ

四六判三五〇頁・價二・〇〇・送〇・一五

大朝に在籍二十三年、その半を論說委員として、論陣の最高峰に位し、日々「天聲人語」に依つて百八十萬讀者に呼びかけた著者が、昭和十一年九月二十六日を以つて停年引退した。「天聲人語」洵に感慨本書は瓢齋の紀念すべき一大モニューメンとして世に送る。

版五十

大阪朝日論說委員 釋 瓢齋著  
「天聲人語」執筆者

俗人語錄

四六判三一五頁・價二・〇〇・送〇・一五

「天聲人語」三千六百余篇中より、翁の明歴々、露堂々躍如たる黄金篇百二十余を描いて本書を成す。優婆塞瓢齋の八斗才は個儻として、時に提唱し、時に誨へ、變々たる光芒は太陽の如く、その光明は十方世界に遍照たり、これを翁が艾年の血と肉をもつてなる短章軌範でなくて何であらう。

發兌

京都 都大路 河原町 二條 下町 六番

院書文人



外務省情報部 東日元調査部長 圓地與四松著

世界の變貌

四六判三二〇頁價二・〇〇送〇・一五

慶大教授 醫學博士 宮島幹之助著

蝸牛の角

四六判三二〇頁價二・〇〇送〇・一五

慈惠大學教授 醫學博士 浦本浙潮著

旅・土・人

四六判三二〇頁價二・〇〇送〇・一五

文學博士 醫學博士 富士川游序 松村寛治著

科學的宗教

四六判價二・〇〇送〇・一五

國際事情通の權威たる著者が、その學殖と地位を驅つてものしたもので、變轉しつゝある世界の情勢を述べた興味と哲蒙の書である。かゝる書は純然たる學者や新聞記者には書き得ない。その兩方を兼ねた人の第一人は著者だ。内容は解説を要しないだらう。

歐米へ研究旅行されること十八回、曾て、聯盟の保險部創設に當つて活躍したり、推されて代議士になつたり。現に北里研究所の部長として研究に余念がない。謹嚴そのもの、様な學者であり、同時に洗練されたフモールを飛ばす著者の隨想隨筆集である。

「旅心常住」は旅に對する著者の心境だが、同じ旅行記を云つても、その Hinter Scene の大きいことは著者がその序文中に「旅行記であり同時に生活記録」と云つてゐる通りだ。兎に角、紀行に新しい境地を拓いたもので、興味津々たるものがある。地下の漱石に讀ませたい低徊趣味満喫の書である。

著者は醫學家であるが夙に宗教に疑義を持ち多年各宗教を研究し、それを見事解決、神秘的宗教より科學的宗教を提唱するに至つた。本書は各宗教を徹底的に検討したもので富士川博士が激賞措く能はざる處眞の宗教を知らんとするのである。人々の必讀すべき書である。

文學博士 齋藤清衛著

精神美としての日本文學

四六判三五〇頁價三・五〇送〇・二一

岡山 巖著

短歌鑑賞論

四六判三二〇頁價二・〇〇送〇・一五

岡野直七郎著

短歌新論

四六判三二〇頁價二・〇〇送〇・一五

山下陸奥著

短歌の表現と技巧

四六判三二〇頁價二・〇〇送〇・一五

傳統の再興、古典の再吟味と日本文學の關心は事變以來急速に眞摯に叫ばれて來た。然もかゝる時代に於て日本文學の背後に脈々こ浪うつこころの精神美をテーマに追跡したエッセイ集であり、これぞ批評文學として著者の獨壇場であらう。

前著「現代短歌論」「現代歌人論」に歌壇よりも寧ろ文壇的に轟々たるセンセーションを捲き起し、遂に大日本短歌協會の第一回協會賞が與へられ、問題の書となつたが、本書はその三部作の一たるもので、著者が最も得意とする、同時に最も力を入れた書である。歌にたづさはる人の必讀書である。

現代歌壇において、實作者であり同時に批評家として、氣焔を擧げてゐる著者は、蒼穹の主宰者として、作歌に批評に活躍してゐる人である。その論旨は明解平易を極めてゐるから、歌道にある人は勿論、初學者にも容易に理解し得る歌論集である。

複雑微妙な短歌の表現と技巧を「何故にかく表現せねばならぬか」と云ふ其根柢を究明し、その表現の眞諦を把握せしめんとした處に苦心があり、記述は實例を示して精緻を極めてゐる。世の所謂入門書、作法書は其類を異にする。實作に勞苦しつゝある人、表現を學ばんとする人々の好參考書である。

院書文人 九下條町原河市都京 兌發

院書文人 九下條町原河市都京 兌發



田邊尚雄著

名曲詳解

四六判三九〇頁・樂譜 六十四圖  
原語歌詞三十首二八〇・送〇・一五

最近のレコードに放送に音楽會等に演奏される名曲を洩らさず詳解し、和聲を解剖的に説明し、初學者にも、相當洋樂の知識ある人にも向く様趣向された、名曲詳解の決定版である。

中山太郎著

民族點描

四六判三〇〇頁・價二〇〇・送〇・一五

神代史の構成と姻戚相▼巡り神の信仰▼復活した神々▼太陽を射落す話▼穀神としての牛▼仁聞菩薩▼將軍地藏▼無間の館▼高野山女人堂▼造綿考▼住吉跡考▼飲食と民俗▼弓矢と民俗▼俳句と民俗▼川柳と民俗▼俚語と民俗▼煙草と民俗▼旅行と民俗▼地名と民俗

慈大教授 浦本浙潮著

科學と民族

四六判三三〇頁・價二〇〇・送〇・一五

現代は科學の時代であり、同時に民族の時代である。然して、その民族の興亡は、擧つて科學にあること云つてもいい。本書は科學より日本民族を觀たものであつて、日本民族の歸趨を示唆して居り躍進日本人必讀の書である。

醫學博士 西川義方著

澄心記

四六判三四〇頁・價二〇〇・送〇・一五

内科の權威であり、溫泉研究の第一人者たる博士は、待醫として夙にその名を知られてゐるが他方筆の人として刀圭界の第一人者である、著者の博學多彩を最もよく知ることが出来る隨筆集だ。醫家は勿論、凡ゆる人々が面白く讀み、且つ益する書である。

東京帝大教授 醫學博士 永井 潜著

道と自然

菊判四三〇頁・價四・五〇・送〇・一五

東洋哲學の源流、老子は「道は自然にあり」と云ひ、又、近代哲學の大祖カントは「道は人にあり」と云つてゐる。「道と自然」は兩者の何れでもなく、それを止揚したものである。「自然觀より人生觀へ」から更に一步を進んだものが本書だ。

東京帝大教授 醫學博士 永井 潜著

自然觀より人生觀へ

ザインよりゾルレンへ  
四六判四七〇頁・價三・五〇・送〇・二二

醫學者であり、哲學者たる博士の研究は、その思想の圓熟と相俟つて素晴らしい進展をみせてゐるザイン(存在)よりゾルレン(當爲)へ博士は斯く叫びつゝ、全く無人の境を行くやうな闊歩をつゞける。本書は最近の醫學・哲學を論じた人生論であり、生命論である。

東京帝大教授 醫學博士 永井 潜著

人及び人の力

四六判三八〇頁・價一・八〇・送〇・一五

天地に偉大なるもの多しと雖も「人の力」に如くなしと大哲ソフォオクレスは喝破す著者はこの偉大な「力」を生活現象に即しつゝ、生命の醫學・哲學・健康と凡ゆる方面に亘つて詳叙してゐる。蓋し醫學書であり同時に哲學書だ。

東京帝大教授 醫學博士 橋田邦彦著

自然と人

四六判三四〇頁・價二〇〇・送〇・一五

著者は自然科學者であり同時に哲學者たり更に、佛教に造詣深いことは夙に識者の知る處である。その言々句々には巾廣き壓力を讀者の肺腑に感ぜしめ、然もその壓力のものと道と人に對して、不斷に燃え盛る蕭然たる愛と眞理を見出すであらう。

院書文人 兌發

京 都 市 大 河 原 町 二 條 下 參 丸 番

院書文人 兌發

院書文人 兌發

京 都 市 大 河 原 町 二 條 下 參 丸 番

院書文人 兌發



最新刊

大毎東日  
論説委員 丸山侃堂著

事變下の日本

―ペンと剣にかへて―

四六判三三〇頁・價一・八〇・送〇・一五

最新刊

大朝元歐洲特派員 守田有秋著

戦争隨筆

四六判三三〇頁・價一・八〇・送〇・一五

最新刊

釋瓢齋著

毒つれく

四六判三〇〇頁・價二・〇〇・送〇・一五

最新刊

正宗白鳥著

思ひ出すまゝに

四六判二六〇頁・價二・〇〇・送〇・一五

支那事變下にあつて、日本の動向を目誌風に書いたもので、國際情勢、政治、經濟、社會の交錯を軍事を主流として論じた。事變書中、後世に残る書。著者は、剣をこつて前線に出るかわりに、筆をこつて銃後に活躍した。まことに筆陣の金鶏勳章に値する業績である。

歐洲大戰當時、大阪朝日の大戦特派員として「鐵血生」のペンネームで縦横の筆を揮ひ、讀者より嵐の如き歡迎を受けた筆者である。「次の獨佛戦争は起り得るか」「伯林爆撃」「巴里空襲」「未來の空中戦」を始め、戦争に關する隨筆集で興味森々たるものである。

釋瓢齋と云へば、もとの大朝の「天聲人語」を思ひ出し、「天聲人語」と云へば、その毒舌を想起する。皮肉屋瓢翁の、もつとも得意として、我れ人共に宥す處のものは、矢張り何と云つても毒舌である。本書は、翁の唯一の毒舌集である。

自然主義勃興の明文から、大正、昭和の三代に亘つて、文壇に搖ぎなき位置を占めてゐる著者が、功なり名とげた身を、海外に遊んだ思ひ出の記である。白鳥氏獨自の見聞は噛み占めて、讀めば讀む程流石に文豪であることを思はせる。

京大教授  
理學博士 近重物安著

野狐禪

四六判三三〇頁・價一・五〇・送〇・一五

京都帝國大學名譽教授・理學博士 近重眞澄著

雪だるま

附録 禪林世語集  
四六判三七〇頁・價二・五〇・送〇・二二

七十版

大阪朝日論説委員 釋 瓢齋著

白隠和尚

四六判三二〇頁・價二・〇〇・送〇・一五

近重物安  
博士題字 野村瑞城著

澤庵と不動智の體現

四六判四〇〇頁・價一・五〇・送〇・一五

收むる所「崇佛の本旨」「お悟り」「禪と科學」「麻三片」「禪説」「偶感」等の外、詩を説き併を語り、書を謂ひ、詩禪一味、輕快によく王三味の端的を舉し、月並宗匠の死禪話輕はなく時にまた諷刺縱横巧みに其信念と心境とを披瀝す。

禪堂は勿論のこと陸軍海軍の將校連から、各専門學校として一般には、ラヂオ放送に―と到る處で噴々の好評を博した禪話、殊に信心銘講話は、最近天龍寺僧堂に於て講じた。博士の最も自信に盈つるものだ。

白隠和尚の史實を經として、得意の禪海秘密の暴露を縱として、これを小説風に書いたものが本書である。いはゆる公案禪の如何なるものであるかは本書に依りて瞭らなつた。徳富蘇峰が激稱して曰く「本書は白隠に關する書中の書であらう」云々

禪門の巨人澤庵は又近世國民思想史上の一人者であり、宮廷の歸依を得、且つ三代將軍家光の精神上の師であつた！殊に澤庵が柳生但馬守に與へた「不動智神妙錄」の一卷は劍の神秘に托して不動心の極意を啓示せるもの。

院書文人

京 都 市 大 河 原 町 二 條 下 六 番 路

院書文人

院書文人

京 都 市 大 河 原 町 二 條 下 六 番 路

院書文人



763  
70

京大教授醫學博士 内島昌雄著  
舟岡省五校閣

結核治療諸問題を正視す

菊判四〇〇頁・價三・五〇・送〇・二一

從來肺病だけの書は多いが、結核諸病を網羅した書は本書が嚆矢である。著者は結核の臨床家として五十年、曩に文部省よりも歐米へ派遣された斯界の重鎮だ。科學的であり、精神的である正しい治療を教へる。

慈惠大教授 醫學博士 森田正馬著

健康と變質と精神異

四六判四三〇頁・價二・五〇・送〇・一五

本書は標題の示す通りの通であるが、博士独自の研究になる分類であり、その學說を盛つたもので健康者は云ふ迄もなく、變質、精神異常について興味深く、且つ修養上にも裨益する様書かれた、此種書物としての初めての試みである。

五 慈惠大教授 醫學博士 森田正馬著

赤面恐怖の療法

四六判三六〇頁・價二・五〇・送〇・一五

「恥しがりや」「小膽者」「人前に出ると顔が赤くなる人」等々は從來名醫名薬をもつてしても癒らなかつたのを、博士が神経質病理を發見されて以來完全に治療し得るやうに成つた。即ち、日本に唯一の治療書である。

慈惠大教授 醫學博士 森田正馬著

神経質療法への道

四六判三三〇頁・價二・五〇・送〇・一五

神経質、神経衰弱症の人々が、凡ゆる醫者に、療法に失敗して、最後に博士を頼つて完全に治療し現に社會の優位にある人々が、全治の喜びの會を組織して、全快の過程を詳に述べ、博士の批判と療法への道を忌憚なく叙べた療病書。

發兌

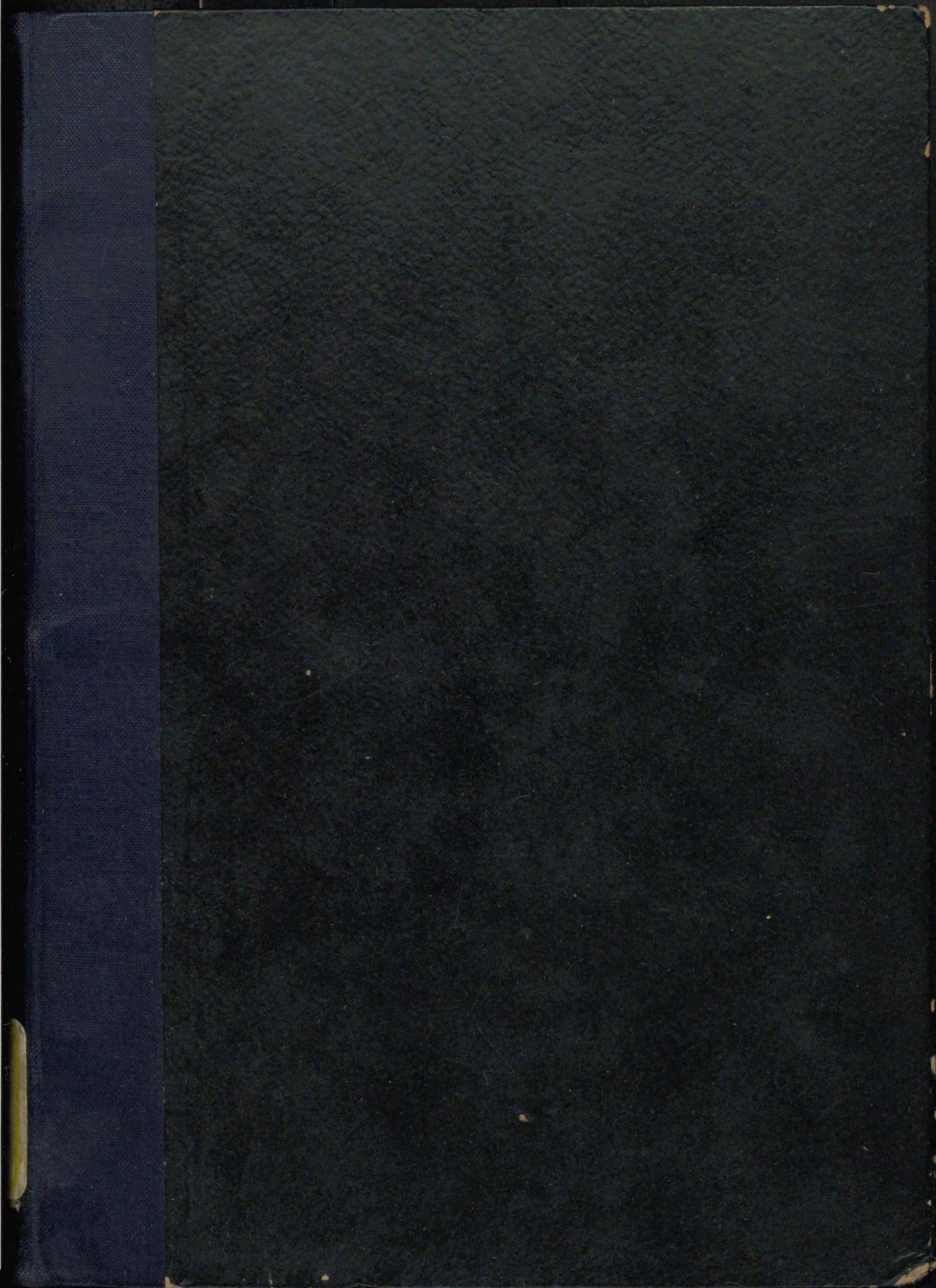
京 都 市 大 河 原 町 二 條 下 六 番 路

院書文人



763  
70





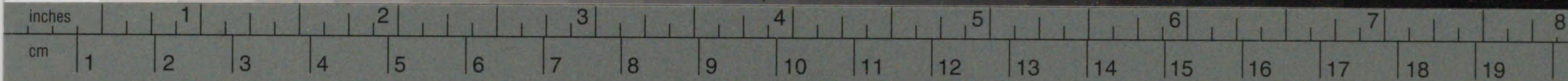


# Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

**A** 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



# Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

